

なかのものがたり

～内容～

1 伝説 9

〈中野長者・鈴木九郎と成願寺、花嫁はけっして渡らぬ「姿見ずの橋」、梅の木から仏像が「新井薬師他〉

2 歴史と中野 29

〈犬公方綱吉と中野御園、見知らぬ人はお断り・江戸の質屋さんガマガエルやコウモリを江戸城へ他〉

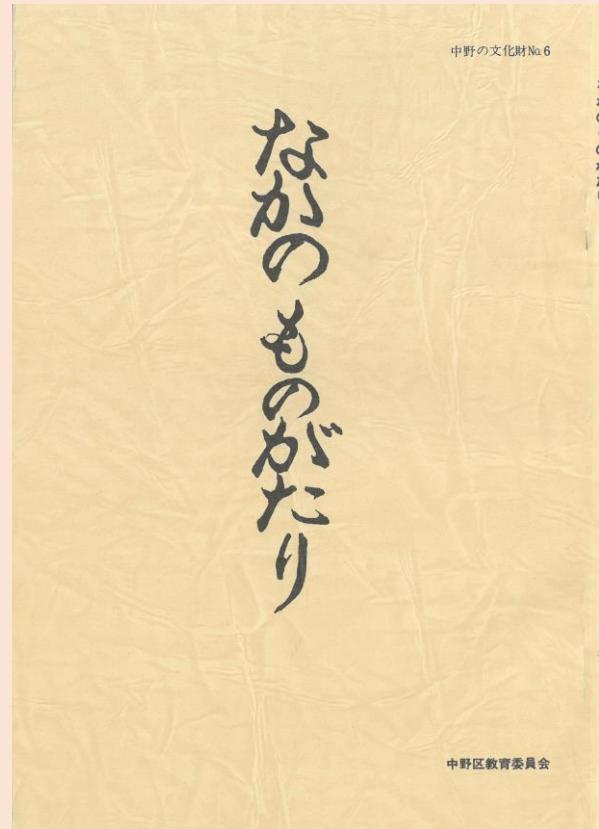
3 村の由来 63

〈大黒虫のいた桜ヶ池・上高田村、太田道灌の合戦場・江古田村白サギがいた村・鷺宮村他〉

～収録内容～

空襲で焼失した宝仙寺の三重の塔、將軍の鷹狩りは村民には負担だった？、20年以上続いたお犬様の時代、雑色の人たちが住んでいた？雑色村、祈禱（きとう）獅子とも呼ばれた江古田の獅子舞など。

昭和36年より区報に掲載された「なかのものがたり」を区民の方からの要望により、再編集し発刊しました。「中野区史」「中野町誌」「城西風土記」等の資料を参考に物語り風に書かれています。



発行：令和3年第2版
A5判
82ページ
価格：280円